

平成 18 年度第 8 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 3 月 24 日（土）
14：00～17：00

場 所：筑波大学東京キャンパス
（茗荷谷）第 1 会議室

出席者：杉山、青木（弘）、蓮見、
五十嵐、大島、大平、清水、
工藤（卓）、工藤（芳）、國本、
久保、車、白石、田浦、
田村、中嶋、生田目、松岡、
三橋、河原林、國澤、阿部、
八馬、小野、金

委任状出席：石川、岡崎、面矢、黒川、
酒井、佐藤、須永、永井、
西川、原田、降旗、森田、
両角

欠席者：青木（史）、植村、細谷、
宮崎、山中

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成 18 年度第 7 回理事会議事録の承認 （八馬本部事務局幹事）

八馬本部事務局員より平成 18 年度第
7 回の議事録案が提示され、以下の
修正が確認された後、承認された。

審議事項 3.

誤）特別講演 → 正）基調講演
誤）基調講演 → 正）特別講演
誤）青木（弘）、五十嵐、両角、中嶋
の 4 理事 → 正）青木（弘）、両角、
中嶋の 3 理事

【審議事項】

3. 平成 19 年度春季大会について

（河原林春季大会実行委員長）

河原林春季大会実行委員長より、配
布資料に基づき、平成 19 年度春季大
会の大会スケジュール、エクスカ
ション、宿泊施設などについて説明
がなされた。資料には、大会参加費、
懇親会費の事前登録の締め切りは 6
月 15 日と記載されているが、6 月 10
日なのでご注意くださいとの報告が
なされた。また河原林春季大会実行

委員長から、作品集作品展示につい
ては、担当者からできるだけ出展し
て頂けるよう要請するとの報告がな
された。

4. 春季大会オーガナイズドセッション について（大平企画委員長）

大平企画委員長から、春季大会に用
意されている以下の 3 つのオーガナ
イズドセッション案について説明が
なされた。

「21 世紀 デザイン教育の再考」

「東海地区デザイン事業」

「デザイン・インターンシップのゆく
えー企業と大学におけるメリット・
デメリット」

杉山会長からオーガナイズドセ
ッション全体の意図、そして、その中
におけるそれぞれのセッションの位
置づけについて不明瞭に感じられる
部分があるため、それぞれについて
明確にして欲しいとの要請がなされ
た。

5. 秋季企画大会について

（大平企画委員長）

大平企画委員長から、秋季企画大会
について説明がなされた。日時を 9
月 15 日、場所を湘南工科大学、実行
委員長を和田精二先生とすることに
ついて審議がなされ承認がなされた。
具体的なテーマについては、今後検
討していきたいとの報告がなされた。

6. 特集号のリニューアルデザインにつ いて

（工藤（卓）学会誌編集・出版委員長）

工藤（卓）学会誌編集・出版委員長
より、特集号のリニューアルデザイ
ンについて、サンプル案が提示され、
説明がなされた。杉山会長から、写
真や図などによる各号の個性を表現
するスペースを設けるほうが良いの
ではないかとの意見がなされ、今後、
引き続き、学会誌編集・出版委員
会で検討することとなった。

7. 支部企画の共有化について

（石川善美支部企画委員長代理
車第 5 支部長）

石川善美支部企画委員長の代理とし
て、車第 5 支部長から、支部企画の
共有化について説明がなされた。具
体的には、支部で行われる研究発表
大会の概要集のあり方について、支
部企画委員会で審議した結果、以下
の点について報告がなされ、審議し
た後、承認がなされた。

・ISSN 番号は記載しない

・発行人は実態に合わせるため、会
長ではなく、支部長とする

また、車第 5 支部長から、配布を有
償にするか、無償にするかについて
は、支部企画委員会において、今後
さらに検討を進めるとの報告がなさ
れた。杉山会長から、学会の共有財
産とするために、さらなる工夫をし
て頂きたいとの意向が示された。

8. 会員の移動について

（八馬本部事務局幹事）

本部事務局に提出された書類を回覧、
審査した結果、入会 [正会員 25 名 (内
外国人 4 名)], 退会 [正会員 34 名 (内
外国人 2 名)] が承認された。

【報告事項】

9. 概要集発表受付準備の経過報告

（工藤（芳）副概要集編集委員長）

工藤（芳）副概要集編集委員長から、
概要集発表受付準備の経過について、
資料に基づき報告がなされた。

10. 各委員会・支部報告

（各委員長・各支部長）

○論文審査・編集委員会

（青木論文審査・編集委員長）

定期刊行物については、若干の遅れ
はあるが、概ね予定通りの刊行が行
われており、また新しい投稿区分に
ついては、まともつつあるが、ま
だ報告するまでには至っていないと
の報告がなされた。

○作品審査・作品集編集委員会

（中嶋作品審査・作品集編集委員長）

作品集の編集作業も最終段階に入っており、大幅な遅れはないと思われるとの報告がなされた。また昨年度は、締切りを8月に設定したところ、例年より応募数が増えたこともあり、本年度の締切りも8月に設定したいと考えているが、他の委員会のスケジュールも考慮しながら、検討したいとの報告がなされた。

○学会誌編集・出版委員会

(工藤(卓)学会誌編集・出版委員長)
これまで2冊の特集号を発行しており、予定通りに進んでいる。残り1冊についても、最終段階に入っており、大幅な遅れはないと思われるとの報告がなされた。また15巻目からは新しいデザインで発行する予定であるとの報告がなされた。

○研究推進委員会

(森田研究推進委員長代理 田村委員)
配布の資料にもとづき、各部会の現状調査の結果、研究部会間の連携を図るためのメーリングリストの整備状況について、春季大会のテーマセッションの応募状況について、報告がなされた。

○企画委員会 総合企画

(大平総合企画委員長)
支部の活性化を図るために、昨年度の春季大会において、支部長会議を開催した、また本年度の春季大会のオーガナイズドセッションについて調整中であるとの報告がなされた。

○事業委員会 アクレディテーション

(両角事業委員長代理 白石委員)
昨年度の9月に検討会を開催し、今後は、デザイン分野の要望を把握するためにアンケート調査の実施を予定しているとの報告がなされた。

○事業委員会 継続教育・資格制度

(五十嵐事業委員長)
資格制度について、現在、日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)

と日本産業デザイン振興会(JIDPO)と連携を密にとりながら、学会主導で進めており、本年度の秋には、JIDA主導により、ワークショップの開催を予定しているとの報告がなされた。

○広報委員会 (生田目広報委員長)

権限の配布による情報更新システムを導入することにより、担当者がすぐに情報を掲載できるようなホームページを構築でき、またそのシステムを利用して頂くために、昨年の12月に講習会を開催したとの報告がなされた。論文集の著作権問題については、引き続き検討を進めたいとの報告がなされた。

○財務委員会 (蓮見財務委員長)

現在、勉強会を開催することにより、法人化にむけて検討を深めているとの報告がなされた。

○IASDR 担当 (杉山 IASDR 担当)

Design SocietyがIASDRに正式に参加することが決まった、またIASDR 2007の応募状況などについて報告がなされた。

○日本学術会議担当 (青木担当)

今後の学術会議の有り方に関するアンケート調査が行われており、その結果を踏まえて対応していきたいとの報告がなされた。

○日本工学会担当 (國澤担当)

公益法人化への意向について議論がなされており、対応機関に要望を提出しているような状況であるとの報告がなされた。

○第2支部 (松岡第2支部長)

配布資料に基づき、昨年度開催したワークショップ、実習など7つの活動について報告がなされた。

○第3支部 (酒井第3支部長代理)

國本第3副支部長)

昨年度開催したサイエンスデザインカフェについて報告がなされた。今後も数ヶ月に一回のペースで開催していきたいとの報告がなされた。また昨年度3月17日開催した研究発表会および懇親会について報告がなされた。

○第4支部 (面矢慎介第4支部長代理)

三橋俊雄第4副支部長)

配布資料に基づき、3つの研究会の体制のもと、3回の研究会を開催したことについて報告がなされた。

○第5支部 (車第5支部長)

特集号に掲載されているとおり、10月28日に開催した研究発表会について報告がなされた。

○本部事務局 (國澤本部事務局長)

新しく成立した法律に基づき、速やかな法人化移行のための現在の準備状況について説明がなされた。

11. 春季大会会計報告

(永井担当代理 國澤本部事務局長)
前回の理事会で指摘された点を修正した第53回研究発表大会決算報告書が提示され、審議の後、承認された。

12. 秋季大会会計報告

(國澤好衛大会実行委員)
平成18年度日本デザイン学会秋季企画大会の会計報告が提示され、審議した後、承認された。

13. 「頑張れ図工の時間 フォーラム」へのご協力について

(黒川理事代理 國澤本部事務局長)
配布資料に基づき、JIDAから連絡があった「がんばれ!図工の時間!!フォーラム」について説明がなされ、署名活動にご協力頂きたいとの報告がなされた。

14. 横断型基幹科学の推進連合会による、横幹ロードマップ策定について

(山中担当代理 國澤本部事務局長)

配布資料に基づき、横断型基幹科学の推進連合会による、横幹ロードマップ策定について説明がなされた。

15. 安全工学シンポジウム 2007 について
(久保理事)

久保理事から、7月6日に学術会議主催で開催される「安全工学シンポジウム 2007」について報告がなされ、共催ということもあり、積極的に参加して頂きたいとの報告がなされた。

記録：小野

平成 19 年度第 1 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 4 月 28 日（土）
13：30～16：40

場 所：キャンパスイノベーション
センター（田町）多目的室 4

出席者：杉山、青木（弘）、蓮見、
五十嵐、植村、大島、大平、
面矢、工藤（卓）、國本、
佐藤、白石、須永、西川、
生田目、松岡、河原林、
國澤、阿部、小野

委任状出席：石川、岡崎、清水、
工藤（芳）、車、久保、酒井、
田村、永井、原田、降旗、
三橋、宮崎、森田、両角、
山中、八馬、金

欠席者：青木（史）、黒川、中嶋、
細谷

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成 18 年度第 8 回理事会議事録の承認
(小野本部事務局幹事)

小野本部事務局幹事より平成 18 年度第 8 回の議事録案が提示され、承認された。

【審議事項】

3. 平成 19 年度活動方針、学会組織について
(杉山会長)

杉山会長から平成 19 年度日本デザイン学会活動方針について、配布資料に基づき説明がなされた。基本方針は昨年と大きな変更はないが、2 年目ということもあり、積み残された課題について実質化を図っていきたいとの意向が示された。また以下の点について、積極的に取り組んでいきたいとの意向が示された。

- ・「動き」がデザインの中心となる領域の投稿方法の検討
- ・特殊な課題を検討する臨時の小委員会の設置の検討
- ・会員資格にフェロー会員を新設することの検討

・継続教育（CPD）ならびにデザイナー資格制度の創設に対する学会の取組み

松岡理事からフェロー会員を新設する目的について質問がなされ、杉山会長から、フェロー会員の方に学会を積極的に引っ張って頂きたいとの説明がなされた。

4. 平成 19 年度春季研究発表大会について
(河原林大会実行委員長)

河原林大会実行委員長より、平成 19 年度春季研究発表大会について説明がなされた。大会参加の事前お申込みの締め切り日が、郵便局の手続きの都合、6 月 10 日から 13 日に変更になった点についてご注意頂きたいとの説明がなされた。また作品集の作品展示については、現在 6 点の展示を予定しているとの説明がなされた。

5. 平成 19 年度総会式次第について

(小野本部事務局幹事)

小野本部事務局幹事から、平成 19 年度総会式次第について説明がなされ、承認された。

6. 名誉会員推挙について (杉山会長)

配布の資料に基づき、名誉会員について審議がなされた後、堀田明裕氏、石井英樹氏二名を名誉会員として推挙することとした。

7. 平成 19 年度学会運営スケジュールについて
(小野本部事務局幹事)

小野本部事務局幹事より、配布資料に基づき、平成 19 年度学会運営スケジュールについて説明がなされ、審議の後、承認がなされた。

8. 第 54 回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞選考要領について

(岡崎概要集編集委員長代理)

阿部本部副事務局長)

岡崎概要集編集委員長代理として阿部本部副事務局長より、配布資料に基づき、第 54 回春季研究発表大会への申し込み状況について、また第 54

回研究発表大会グッドプレゼンテーション賞選考要領について説明がなされた。

杉山会長から、今後グッドプレゼンテーション賞を学会が与える賞とすることを考えると、論文審査委員会が学会として、研究のクオリティコントロールの役割を担っており、選考組織に論文審査委員会を含める方が適切ではないかとの指摘がなされた。また須永理事から、選考基準の中にプレゼンテーション自体の審査基準が含まれていないのではとの指摘がなされた。また杉山会長から、座長と実行委員の役割を明確にして欲しいとの指摘がなされた。それらの指摘を考慮して、概要集編集委員会ですらに検討し、次の理事会で再審議することとした。

9. 特集号リニューアルデザインについて
(工藤(卓)学会誌編集委員会委員長)
工藤(卓)学会誌編集委員長より、特集号リニューアルデザインについて、サンプル案が提示され、説明がなされた。学会ロゴの色の取扱いについては、実際にロゴの選考携わった西川理事にご検討頂き、次の理事会で報告頂くこととした。

10. 新設研究部会申請について
(森田研究推進委員長代理
國澤本部事務局長)

森田研究推進委員長代理として、國澤本部事務局長より、「タイポグラフィ研究部会」新設について、配布資料に基づき説明がなされ、審議の後、承認された。杉山会長から、過去のタイポグラフィに関する研究の多くは、歴史に関するものであり、今後は、配布資料に示されている通り、1. 文字の形態デザインに関すること、2. 文字を使用するデザインに関することについて、積極的に研究を進めて頂きたいとの意向が示された。

11. 会員の移動について

(小野本部事務局幹事)

本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員38名(内外国人6名)]、退会[正会員21名]が承認された。

【報告事項】

12. 藝術学関連学会連合シンポジウム
(黒川学術会議担当理事代理

國澤本部事務局長)

藝術学関連学会連合シンポジウムについて、黒川学術会議担当理事の代理として、國澤本部事務局長より、配布資料に基づき説明がなされた。

13. 第2支部活動日程

(松岡第2支部支部長)

松岡第2支部支部長より、配布資料に基づき、本年度の活動日程について説明がなされた。

14. 平成19年度秋季企画大会について
(大平企画委員長)

大平企画委員長より、平成19年度の秋季企画大会について、大会テーマを「安全と安心のデザイン(仮)」とする予定であるとの報告がなされた。

15. 平成20年度春季研究発表大会について
(杉山会長)

現在、候補地はあがっているが、まだ確定できる段階ではないため、次の理事会で再度検討することとした。

16. 平成18年度委員会活動報告および平成19年度委員会活動方針

(小野本部事務局幹事)

小野本部事務局幹事より、資料が配布され、修正などがある場合は、事務局に連絡して頂きたいとの連絡がなされた。

記録：小野

募集案内

カラーフォーラム JAPAN2007

論文募集

◆開催日：2007年11月27日(火)～29日(木)

◆場所：工学院大学(東京・新宿)

◆主催：光学四学会幹事会[日本写真学会 日本光学会(応用物理学会) 照明学会 日本色彩学会]

◆共催：映像情報メディア学会 画像電子学会 電子情報通信学会 日本画像学会

◆協賛：情報処理学会 電気学会日本印刷学会 日本心理学会 日本デザイン学会 日本EM学会 レーザー学会 色材学会 IST東京支部 人工知能学会 日本視覚学会 日本映像学会 日本写真芸術学会(以上依頼中)

◆構成：口頭発表(20分)、ポスター発表(60分)、特別/招待講演およびチュートリアルセミナー。

◆口頭発表機器：PCプロジェクター、ほか。

◆募集論文内容：最近おこなった研究で下記のいずれかに該当するもので、発表形式は口頭(本会場)またはポスター(ポスター会場)です。

- 1) 色覚
- 2) 表色・測色
- 3) 照明
- 4) 色彩記録・色再現
- 5) 色彩情報処理・評価
- 6) 色彩表示・色彩表現
- 7) 色彩材料
- 8) 色彩心理
- 9) 色彩計画・色彩調和
- 10) 色彩文化・色彩教育
- 11) カラーアーカイブ

◆応募資格：著者のうち1名以上が主催・共催・協賛学協会会員であること。

◆講演申込方法：A4・1枚に、①題目、氏名、所属、共著者名、②論文のアブストラクト(500字程度、図表も含む)、③上記希望分類、発表形式の希望、所属学協会、および④連絡先(所在地・電話・Fax・Email)を下記あEmail(推奨)またはFaxでお送りください。プログラム編成上、分類と発表形式は変更を

お願いすることがあります。

- ◆申込書および概要の提出期限：
2007年8月8日(水)
- ◆応募論文の審査：委員会において申込時提出の内容概要で審査します。
- ◆論文集原稿：採択論文についてはオフセット印刷用カメラレディ原稿・4ページ(A4判)を提出していただきます。原稿作成の詳細は、論文採択通知(8月下旬)とともにお知らせいたします。
- ◆論文集原稿締切：2007年11月1日(木)
- ◆送付先・問合せ先：
カラーフォーラム JAPAN事務局
〒161-0033 新宿区下落合3-17-42
Tel: (03)3950-1641 Fax: (03)3565-7717
Email: ren-net@vega.ocn.ne.jp
http://www.ren-associates.com/ColorForumJ/cfp/home_jp.html

JDN カレンダーデザインアワード

2008 作品募集

- ◆テーマ：自由(グラフィック・アート・タイポグラフィ・写真作品など。立体作品や空間作品・アパレル作品を撮影した写真作品なども可能です。)
- ◆応募期間：2007年7月2日(月)～10月10日(水)午後6時まで
- ◆応募作品：JDN2008年度版カレンダーの図版(1作品=1カ月)※12ヶ月すべてではなく、1作品が1ヶ月づつとなります。
- ◆資格：不問(JDN関係者は除く)作品に関しては、国内外で未発表かつ過去に公開応募に応募していないもので、画像、イラスト、テキスト等すべてオリジナルであること。
- ◆賞：最優秀賞(1作品) 優秀賞(11作品)
- ◆審査員：内田繁(インテリアデザイナー/ジャパンデザインネット顧問)、桐山登士樹(デザインディレクター/株式会社TRUNK主催)、長谷部匡(STUDIO80)、鈴木義隆(Japan Design Net 局長)、石井透(Japan Design Net 編集長)
- ◆結果発表：2008年11月下旬
WEB マガジン「Japan Design Net」、メールニュース「DESIGN WEEKLY」にて発表。※優秀作品に選ばれた12名

の方には、11月中旬頃に結果をご登録の連絡先にご報告いたします。

- ◆応募方法：ウェブサイト <http://calendar08.japandesign.ne.jp> のフォームからのデジタル応募。最終提出作品のサムネールを応募します。※応募は2007年7月2日から開始します。
- ◆主催・問合せ先：
ジャパンデザインネット JDN calendar Design Award 2007
E-mail: compe@japandesign.ne.jp
件名：「JDN calendar Design Award 2008 について問い合わせ」
FAX：03-3836-7310

九州観光マスター検定試験

ロゴマークデザイン案の募集

平成17年度から福岡商工会議所が企画・実施している「九州観光マスター検定試験」。それは、国内外の人々に九州の良さを発信することで、九州の観光振興に寄与する人材を育成するための検定試験です。この試験を一般に広くアピールし、今後のシンボルとなるロゴマークデザインを募集いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

- ◆応募資格：なし
- ◆募集締切：平成19年7月31日必着
- ◆賞：
 - ・最優秀賞：1点(賞状および副賞5万円)
 - ・優秀賞：2点(賞状および副賞2万円)
- ◆デザイン案の用途：
試験要項、ポスターなどの印刷物への掲載や合格者用のバッジなど、関連グッズの作成に使用いたします。
※その他詳細については、チラシまたはウェブサイトにて URL: <http://kyushu-kanko-master.seesaa.net/>
- ◆問合せ先：福岡商工会議所企業研修グループ 九州観光マスター検定担当
Tel: 092-441-2189

催し物

アルヴァロ・シザの建築

Public and Private Architecture

in Different Context

- ◆会期：2007年6月2日(土)～7月28日(土)
- ◆時間：11:00-18:00 (金曜日は19:00まで)
- ◆休館日：日曜・月曜・祝日
- ◆入場料：無料
- ◆会場：ギャラリー間
〒107-0062 港区南青山1-24-3
TOTO 乃木坂ビル3F
Tel 03-3402-1010/Fax 03-3423-4085
- ※会期中ギャラリー・トークを開催します。展覧会会場でアルヴァロ・シザ事務所出身の方々に、シザの建築がどのようにつくられるのか、ポルトガルの建築についてなど、当時のエピソードを交えてお話いただきます。
- ◇ギャラリー・トーク開催スケジュール◇
ナビゲーター：戸室太一(建築家)
- ◇第1回 6月2日(土)
「アルヴァロ・シザの建築を解説する」
話し手：戸室太一(建築家)、矢萩喜從郎(建築家、デザイナー)
- ◇第2回 6月16日(土)
「アルヴァロ・シザの建築手法」
話し手：中村光則(建築家)
- ◇第3回 7月21日(土)
「ポルト大学からアルヴァロ・シザ事務所へ」
話し手：新谷憲司(建築家)
※各回 14:00～15:00
- ◆問合せ先：ギャラリー間
〒107-0062 港区南青山1-24-3
TOTO 乃木坂ビル3F
Tel 03-3402-1010/Fax 03-3423-4085
<http://www.toto.co.jp/gallerma/>

献本御礼

◆寄贈図書

- ・ ふうすま 文化のランドスケープ, 向井一太郎・向井周太郎, 中公文庫

◆機関誌

- ・ KUMAGAI UPDATE Vol.61, 株式会社熊谷組, 2007
- ・ JAGDA Report NO.179, JAGDA, 2007
- ・ JAGDA Report NO.180, JAGDA, 2007
- ・ GARRERY ROAD 19, ヨコハマポートサイド街づくり協議会, 2007
- ・ 横幹 Vol.1 No.1 Apr.2007, 特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合

会員の移動

◆平成18年度第8回理事会承認 2007.3.24

<新入会>

*正会員25名(内外国人4名)

浅沼 則行	井口 朋之
石川 奉矛	市村 由貴恵
上野 直樹	近藤 雅人
佐々布 裕季	柴田 友馬
下村 剛	周 豊
杉山 陽二	鈴木 香澄
竹内 智彦	田崎 慎也
千川 文子	土屋 貴幸
鶴野 俊哉	三角 謙太郎
矢代 恵一	山下 晋吾
吉田 泰三	NEDA FIRFOVA
金 多賢	南 愛蘭
HU	KE

<退会>

*正会員34名(内外国人2名)

渥美 清	伊賀 憲子
池町 優太	伊藤 尚子
宇野 英隆	遠藤 牧人
岡田 幾太郎	加賀谷 彰人
片山 孝太	加藤 健郎
川島 洋一	岸田 能和
後藤 元一	笹倉 千紗子
曾根 眞佐子	田村 正
千代田 朗	中森 和崇
成田 陽一	西池 華子
畑 智子	伴野 輝久
平松 茂夫	廣末 勝巳
帆足 まおり	本庄 恵美
松崎 雅則	三國 秀美
八木 茂	山本 吉男
横井 紘一	渡辺 芳道
金 守美	田 慕玲

◆平成19年度第1回理事会承認 2007.4.28.

<新入会>

*正会員38名(内外国人6名)

石川 洋平	上岡 玲子
尾道 翔太	笠原 信一
川島 淳平	北村 真吾
西條 友弥子	齋藤 清和

齋藤 力也	佐々木 一成
澤田 浩二	澤田 慎治
菅原 正行	杉山 滝三
炭谷 茂太	世利 幸代
高木 きっこ	大工園 英太
柄澤 光彦	中塚 慧
萩原 徹	樋口 麻里子
平野 靖洋	古沢 克仁
牧 俊一	松永 絵美
宮下 健児	宮尾 和樹
安武 伸朗	行富 誠一
湯本 徹朗	渡辺 禎久
元 哉盛	郭 龍旻
NGO THI THU TRANG	
孫 怡然	李 子維
LEVY Pierre Denis	

<退会>

*正会員21名

青柳 新吾	安藤 友人
市瀬 昌昭	大野 麻衣
大森 雅人	河本 大洋
上原 守峰	君島 裕
木元 宏次	小松 祐介
佐久間 恭子	鈴木 史郎
鈴木 真	伴 泰幸
本郷 文夫	村越 愛策
八木 大彦	安田 公彦
山口 大貴	山本 誠
吉川 嘉修	

平成19年度秋季企画大会 速報

秋季大会の概要が下記のとおり決まりました。ふるってご参加ください。

記

- 大会テーマ：「安心・安全のデザイン」
- 日時：平成19年9月15日（土曜日）
- 会場：湘南工科大学（藤沢市）

- 基調講演： 「安心・安全のデザイン（仮）」
荒井利春氏（金沢美術工芸大学）
- シンポジウム：「安心、安全の環境デザイン - ユニバーサルデザインの視点から」
司会進行：長谷高史（愛知芸術大学）、
パネリスト：太田幸夫（多摩美術大学） 他

これらと平行して、「学生プロポジション」を計画しています。

ここでは湘南工科大で進行中のユニバーサルデザインに基づくカヌーの展示・実演が予定されています。

また、各大学の学部生を含めたパネル展示を募集します。

詳しくは、企画委員会の

大平智弘<ohira@musabi.ac.jp>、須永剛司<sunaga@tamabi.ac.jp>、

永井由美子<nagai@tkb.att.ne.jp>までお問い合わせください。

平成 19 年 5 月 28 日

日本デザイン学会
会員各位

日本デザイン学会
会長 杉山 和雄

平成19年度学会各賞候補推薦のお願い

謹啓

貴殿におかれましてはご健勝のことと存じます。

さて、ご承知のこととは存じますが、本学会が授与する学会各賞の選考は、広く会員各位からのご推薦を受けて、その作業を進めることになっております。

つきましては、別記「各賞授賞に関する規定」ならびに「各賞授賞候補推薦要領（覚え）」をご参照のうえ、同封の「日本デザイン学会平成19年度学会各賞候補推薦書」にご記入いただき、平成19年6月29日までに、下記までご回答ください。

学会賞授賞にあたっては、学会賞授賞選考委員会において、各位からご推薦のあった会員および研究を対象として慎重に選考・審査し、本年度の秋季企画大会において授賞のはこびにしたいと考えております。

よろしく願い申し上げます。

敬具

学会各賞候補推薦書は
6月29日（金）必着で
学会本部事務局まで
お送りください。

宛先：日本デザイン学会本部事務局
〒167-0042 杉並区西荻北 3-21-15 ベルフォート西荻 703
TEL：03-3301-9318
FAX：03-3301-9319

各賞受賞に関する規定

昭和 62 年 7 月 25 日制定
平成 2 年 4 月 21 日改正
平成 8 年 4 月 18 日改訂

第 1 条〔目的〕 日本デザイン学会は、会則第 4 条ならびに第 5 条に基づき、デザインに関する学術的研究の進歩発展を目的として次の各賞を制定し、その優れた研究・業績・その優れた研究・業績をなした個人もしくは団体に対し、各年度ごとに授賞する。

第 2 条〔賞の種類・性格〕 日本デザイン学会が授賞する賞の種類と性格は、次のものとする。

1. 日本デザイン学会特賞：

学会誌「デザイン学研究」に掲載された研究論文、作品等であって、特にデザイン学に関する優れた学術的研究業績を示した会員を対象として、顕彰する。

2. 日本デザイン学会賞：

学会誌「デザイン学研究」に掲載された研究論文、作品等にあつて、デザイン学の発展に寄与する優れた研究を対象として、顕彰する。

3. 日本デザイン学会研究奨励賞：

学会誌「デザイン学研究」掲載研究論文、作品等および本学会主催の研究発表会における研究発表等にあつて、その将来における発展が期待される優れた研究を対象として、顕彰する。

4. 日本デザイン学会年間論文賞：

学会誌「デザイン学研究」研究論文集に掲載された研究論文にあつて、当該の年度ごとに、優れた研究を対象として、顕彰する。

5. 日本デザイン学会年間作品賞：

学会誌「デザイン学研究」作品集に掲載された作品にあつて、当該の年度ごとに、優れた研究を対象として、顕彰する。

6. 日本デザイン学会功労賞：

本学会正会員、名誉会員、賛助会員等であつて、本学会またはデザイン学の発展のため多大の功労をなした個人もしくは団体を対象として、顕彰する。

第 3 条〔賞〕 特賞、学会賞、功労賞にあつては、賞状および記念品とする。年間論文賞、年間作品賞にあつては、賞状とする。

第 4 条〔決定手順〕 各賞の授賞は次の方法で決定する。

1. 各賞授賞候補の推薦者は本学会会員とし、推薦者を推薦理由を付して書面で会長に申し出るものとする。
2. 各賞授賞の選考は日本デザイン学会各賞選考委員会（以下、選考委員会という）で行う。
3. 選考委員会は、理事長が指名した本学会会員およそ 10 名をもって構成し、選考

委員は年度当初に会長が委嘱する。選考委員会委員長は会長の指名する者とする。

4. 選考委員会は各賞授賞候補の中から適当と認められる授賞候補者を選考し、選考過程ならびに選考理由を付し、書面で会長に報告する。

5. 会長選考委員会からの報告を理事会にはかる。理事会は、理事会運営細則に準拠し、各賞授賞の可否を決定する。

第 5 章〔授賞式〕 各賞の授賞式および選考経過報告は、毎年、日本デザイン学会秋季大会において行う。

第 6 条〔授賞の延期〕 各賞を授賞すべき対象がない場合は、当該年度の授賞を行わない。

付則

第 1 条 本規定は、理事会の決議により変更することができる。

第 2 条 本規定の施行に必要な内規は、別に定める。

第 3 条 本規定は、昭和 63 年 4 月 1 日より施行する。

第 4 条 本規定は、平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

選考委員会において確認された推薦要領は、次の通りです。推薦にあつての参考として、お目通しください。

各賞授賞候補推薦要領

日本デザイン学会特賞

- 1) 当該年度末において、およそ 10 年以上の長期にわたり、研究論文・口頭発表・作品設計発表積極的に、多くの研究業績（著書を含む）を残してきた本学会会員を対象として選考して下さい。
- 2) 上記の会員による研究が、当該のデザイン研究領域における発展に大きく寄与したと判断されるもの対象として選考して下さい。
- 3) この賞は、例えば○○○に関する一連の研究をなした□□□氏に対して、与えられるものです。

日本デザイン学会賞

- 1) 当該年度末において、およそ 5 年以上の期間にわたり発表のあった研究論文・口頭発表・作品設計発表を対象（著書を含む）を対象として選考して下さい。
- 2) 上記の研究が、当該のデザイン研究領域において優れていると判断されるものについて、選考して下さい。
- 3) この賞は、例えば○○○に関する継続的研究もしくは○○○に関する研究に対して、与えられるものです。

日本デザイン学会奨励賞

- 1) 当該年度末において、最低 1 年以上にわ

たって発表のあった研究論文・口頭発表・作品設計発表を対象（著書を含む）として選考して下さい。

2) 上記の研究が、当該のデザイン研究領域において将来的発展が期待されると思われる研究を対象として、選考して下さい。

3) この賞は、例えば○○○に関する研究に対し、与えられるものです。

日本デザイン学会年間論文賞

- 1) 当該年度末までに刊行された学会誌「デザイン学研究」研究論文集に掲載された研究論文を対象として選考して下さい。
- 2) 上記の研究が、当該の領域において優れていると判断されるものについて、選考して下さい。
- 3) この賞は、当該年度の学会誌「デザイン学研究」研究論文集に掲載された研究論文に対し、与えられるものです。

日本デザイン学会年間作品賞

- 1) 当該年度末までに刊行された学会誌「デザイン学研究」作品集に掲載された作品を対象に選考して下さい。
- 2) 上記の作品が、当該の領域において優れていると判断されるものについて、選考して下さい。
- 3) この賞は、当該年度の学会誌「デザイン学研究」作品集に掲載された作品に対し、与えられるものです。

日本デザイン学会功労賞

- 1) 長年にわたって日本デザイン学会もしくはデザイン学の発展に多大なる功労をなした会員または団体を対象として選考して下さい。

賞の推薦に際し、次にご留意下さい

- ◆ 物故者、および、物故者のなした研究は対象外とします。
- ◆ いずれの賞にあつても、現時点で本学会の正会員もしくは名誉会員であることを条件とします。功労賞のみ、正会員、名誉会員に加え、賛助会員を対象とします。
- ◆ 研究発表の範囲は、「デザイン学研究」論文集の場合は第 53 巻第 6 号まで、作品集の場合第 12 巻までとします。
- ◆ 日本デザイン学会年間論文賞、作品賞は、平成 18 年度発行の「デザイン学研究」研究論文集、作品集の中から、ご推薦下さい。
- ◆ ご推薦にあつては、当該の研究論文・口頭発表概要・作品設計概要等にお目通し下さい。
- ◆ 受賞候補者の研究業績・社会的活動等がわかりの場合は、関係資料を同封して下さい。

日本デザイン学会
平成19年度学会各賞候補推薦書

賞の名称	・学会特賞 ・学会賞 ・研究奨励賞 ・功労賞 ・年間論文賞 ・年間作品賞 * 該当する賞に○をつけてください。
推薦候補名	氏 名 : 研究題目 :
推薦理由 * 推薦理由を記述する	
推薦者	推薦者氏名 : 推薦年月日 : 年 月 日

＜お 願 い＞

推薦にあたっては、別掲の「各賞授賞に関する規定」「各賞授賞候補推薦要領」をご参照ください。なお、学会特賞、学会賞、研究奨励賞、功労賞の推薦にあたっては、可能な限り詳細な本人の業績一覧を添付してください。

学会各賞1件につき1枚を使用し、この用紙が不足の際には、コピーしてお使いください。この推薦書は、封筒に「推薦書在中」と朱書きして、平成19年6月29日(金)までに、下記宛にお送りください。

宛先：日本デザイン学会本部事務局
〒167-0042 杉並区西荻北 3-21-15 ヘルフォート西荻 703
TEL：03-3301-9318、FAX：03-3301-9319